

幸野おさむ
4年間の
仕事

「まず現場に」が、私のモットー。生活現場の声を市政にぶつけ、みなさんと力をあわせて実現させました。

国分寺駅南口東側のスロープ、 駅構内のエレベーター・エスカレーター設置を 実現しました。

お年寄りも障がい者も利用しやすい駅にするために何度も市議会で質問。さらに地域の人々とJRや市に交渉した結果、南口東側にスロープ、構内にはエレベーター・エスカレーターが設置されました。

また、障がい者の鉄道旅行を支援する「ひまわり号」にも毎年参加し、行動をともにしています。



市役所に雇用担当係を新設しました。

ネットカフェ調査や東京仕事センター前での調査、年越派遣村の手伝いなどの経験をもとに、市に緊急雇用対策や住宅支援の実施を粘り強く要求。その結果、緊急雇用創出事業がスタートし、市役所内に雇用担当係が新設されました。市の非正規職員の待遇改善も粘り強く求めています。



待機児童解消にむけ 認可保育園の新設をかちとりました。

保育園に入れない子どもが208人もいます(2010年10月現在)。日本共産党市議団は議会で毎回、認可保育園の増設を要求。父母のみなさんの運動も粘り強く続く中で、市長は「待機児童をゼロにする」と約束し、2011年4月から3つの保育園が開園することになりました。

熊野神社通りの西武多摩湖線踏切りの 安全対策を、平面交差で実現。

お金と時間がかかり、地域を分断する立体交差計画を、地域のみなさんと一緒に運動して平面交差での整備に変更、実現させました。

市民のみなさんと一緒に、 以下の願い実現に 力をつくしてきました。

- 少人数学級へ一歩前進させる。小学1・2年生の38人以上クラスに非常勤講師を配置。
- 中学校給食を実現。弁当と給食の併用方式でスタート。
- 全ての小中学校に学校図書司書の常駐配置。
- 介護施設で緊急ショートステイの実現。
- ぶんバスの路線拡充。
- 中小企業・自営業者への緊急融資制度の創設。
- 非核平和都市宣言25周年を機に、平和市長会議などにも加盟。

1980年、教員一家の次男として立川市に生まれました。

高校は拝島高校に進学。入学後、学業に疑問を持って1年ほどで退学し、周囲を驚かせました。その後、働く中で学ぶ意欲に再び目覚め、学業の場に戻ります。この間、両親とは常に互いを認めあって率直に話合う関係にあり、成長の糧になりました。

2000年、国分寺市に転居して通信教育(翌3月、NHK学園を卒業)で学びながら飲料メーカーに入社。市議立候補までの6年間、自動販売機のメンテナンスに毎日汗を流して資格も取り、お客さんからの感謝の言葉に充実した日々を送りました。

入社1年後、9.11同時多発テロをまのあたりにし、憲法9条を守る日本共産党に共感して入党。働くものの権利を学び、会社に労働条件の改善を要求、推薦されて組合の支部長に。そして会社に対しても、組合に対しても契約社員と正社員の不合理的な差別の改善を要求。「言うべきことを言う」姿勢を貫きました。

4年前、おされて市議会議員に立候補し、当選しました。民間企業の現場での体験が新人議員で1番の質問回数、悪政を相手に一歩も引かない「市議会議員・幸野おさむ」につながっています。

● 公園の木が枯れていたので「大風で倒れたら心配」と幸野議員に相談すると、快く調査してすぐ対応してくれました。
子ども達がオタマジャクシやザリガニなどの生き物とふれあえる自然環境を、市内にもっと増やして欲しいと期待します。
(東戸倉在住 南さん 1歳児の母)

● 4年前、幸野くんの市議への決意は、長時間労働で悩んでいた私にとって、とても勇気づけられるものでした。
明るくて気さくで、芯が一本通った強さがあります。「おかしいものはおかしい」と市長にもはっきりものを言える、頼りがいのある人です。議会での活躍を応援しています。
(本町在住 安保 佳代子さん 20代デザイナー)

● 彼の4年間を見てきて、若さと活力は保証する。彼の本当の存在感は、下積みの苦勞を知っているから、市民の苦勞も分かることだ。
そして今度は一児の父となった。その人間的成長が、次期の市議会で試されるだろう。だから私は彼に期待したいのだ。
(南町在住 伊藤 隆さん 80代年金者)

生いたち

幸野おさむ
は
こんな人

周囲の人が、
人柄を語る。